＜ 第3回 認定NPO法人スマイルオブキッズ主催 シンポジウム ＞

病気や障害のある子どもの「きょうだい児支援」
きょうだい児支援の繋がりを深める

2021年10月2日(土)
患者・家族滞在施設「リラのいえ」
よりオンライン開催

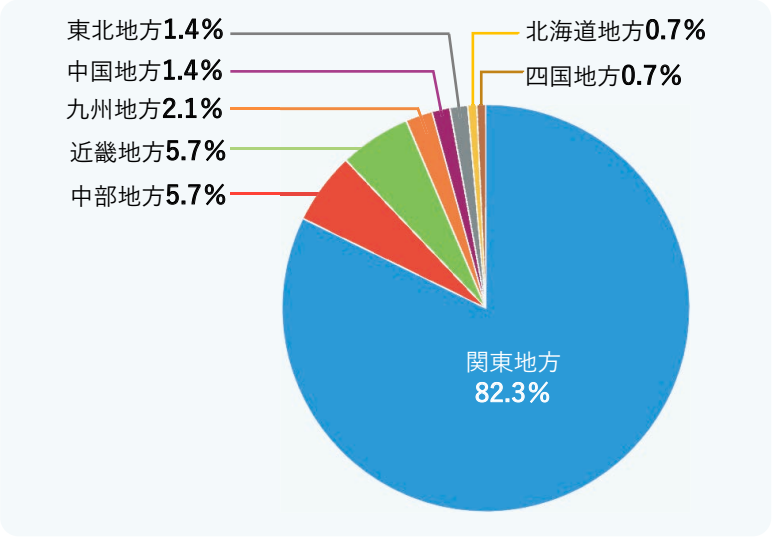
アンケート集計

●参加者情報

＜地方別申込者数＞

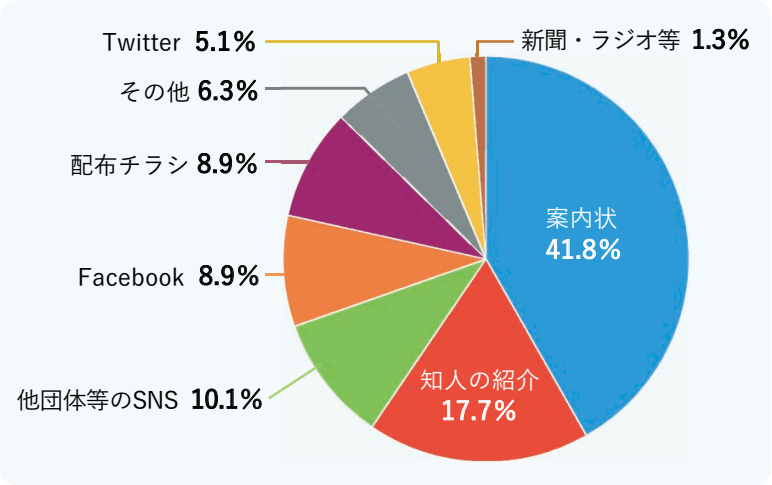
関東地方 ----------116人（82.3%）
中部地方 ---------- 8人（5.7%）
近畿地方 ---------- 8人（5.7%）
九州地方 ---------- 3人（2.1%）
中国地方 ----------2人（1.4%）
東北地方 ----------2人（1.4%）
北海道地方 ----------1人（0.7%）
四国地方 ----------1人（0.7%）

＜当日参加者＞
オンラインのみ：141人

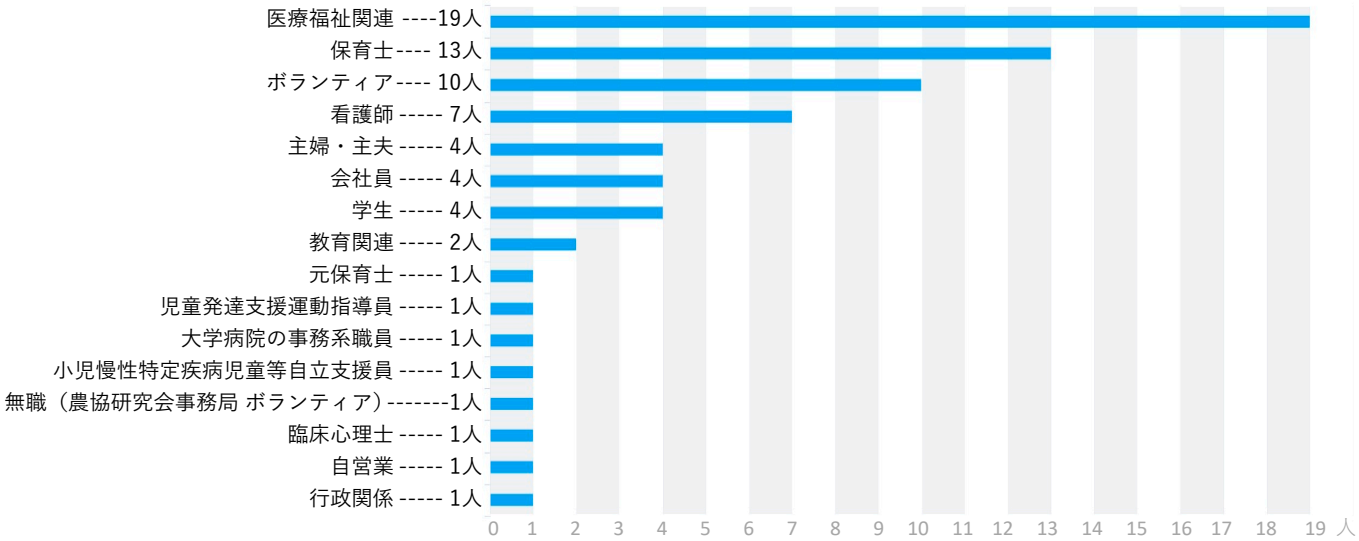


●この研修会を何で知りましたか？

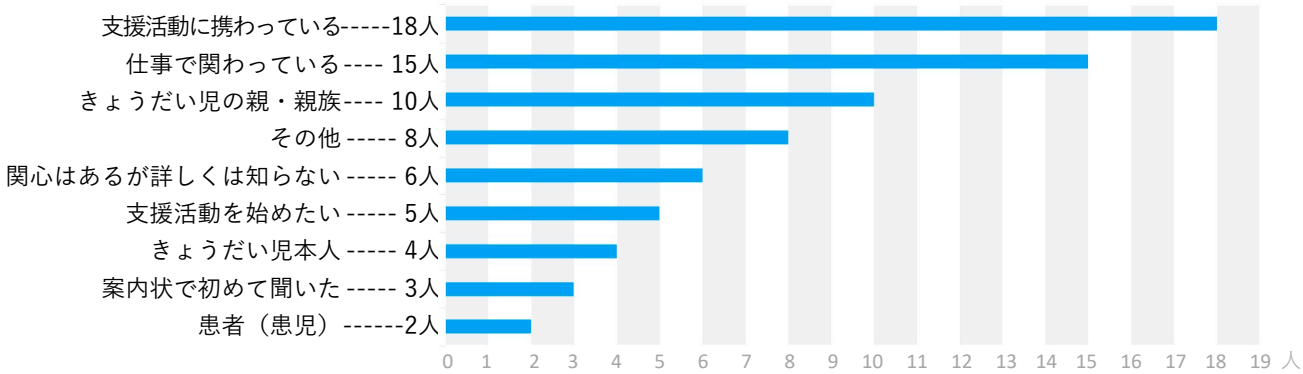
スマイルオブキッズからの案内状 ---33人
知人の紹介 ----------14人
他団体等のSNS ----------8人
スマイルオブキッズFacebook --------7人
配布チラシ ----------7人
その他 ----------5人
スマイルオブキッズTwitter ----------4人
新聞・ラジオ等 ----------1人



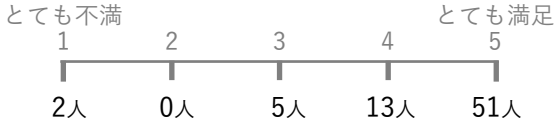
●職業を教えてください

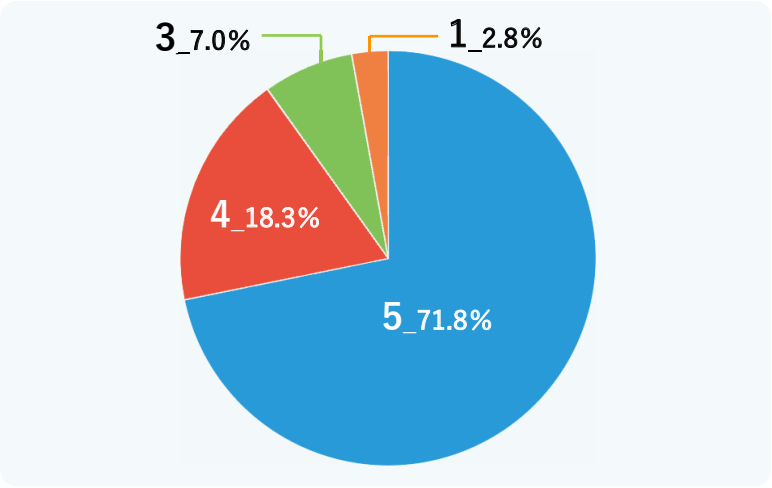


●どのような立場でのご参加ですか？



●第一部講演の満足度はいかがですか？





＜第一部の満足度の理由や感想＞

＊おことわり: 以下、理由や感想など参加者からのご意見は全て原文のまま掲載をしています。

満足度1

◎ NPO難病ネットの活動紹介とテーマであるきょうだい児支援がバランスよく、分かり易い内容であった。

満足度3

◎当事者のお話しも入れるべきだと思います。
◎きょうだい児の安心できる場所があるということは、保護者も安心できるので、そのような場所があり、とても良いと思った。

満足度4

◎がんばれ共和国の活動の中でもきょうだい児支援が行われていることを知り、貴重なお話でした。
◎きょうだいに限定せず、家族全員への支援に真剣に取り組んでいる姿勢が伝わった。
◎各支援団体の熱心な取り組みに感心致しました。ただ、こういう活動を上手く回していけているのは、全国的に見てもごく一部の団体、施設に限られているという現実も知れました。だから、本当に発信すべきは、その改善策であり、成功例ばかりを言われても、凄いね、偉いねで終わってしまう懸念も一方では生じるのではないでしょうか。
◎リラの家は、以前から知っていたが、中の様子や具体的な活動を知ることができた。難病を抱えるお子さんのご家族が　様々な活動を通していきいきとした繋がりをつくっていることに、感動した。

満足度5

◎団体の支援内容やその背景となる政策的なお話が聞けたこと。普段はなかなか知ることができないお話で大変勉強になりました。
◎以前も、このようなお話を聞きましたが、コロナ時代の活動のことを直接聞けて、とても参考になりました。
◎お部屋がないきっかけがキッズ団につながっていき、兄弟児たちのつながりが出来たことが素敵だなぁと思いました。
◎難病のこども支援全国ネットワークさんの全国的な活動をお聞きする事で難病のこどもをかかえていらっしゃるご家族の皆さんがどんな風な気持ちで過ごされているか、キッズ団で楽しんでいるきょうだい児の子どもにどういった意義でその場を提供しているか知る事ができましたし、基調講演を通して行政的な支援やまだまだ事業として浸透していない部分もあるのだなという事を学ぶことができ貴重な経験となりました。
◎患児だけ注目され、力を注がれやすい現状の中、親御さんやきょうだいさんへの支援、また、それぞれの関わりを橋渡しする活動、素晴らしいと思いました。
◎ 第一部講演では、難病を持つ子どもたちのご家族やきょうだい児さんがどのような場、支援を必要としているのかということについて知る事ができました。特に、なかなか普段出会うことの少ないきょうだい児さんどうしが交流することのできる場は、複雑な思いをご家族や学校に伝えにくいという中で、大きな支えとなることがわかり、その重要性を感じました。また、第一部の中では、小児慢性特定疾病児童自立支援事業についてのお話がありましたが、そのうち任意事業については、全国の半数以上が行っていないということを知り、驚きました。きょうだい児支援の必要性を伝え広げていくことが重要なんだと感じました。私自身、きょうだい児支援について今までほとんど知らなかったため、今回のシンポジウムでお話を聴いたことをきっかけとして、きょうだい児支援の様々

＜次ページに続く＞

な活動を知り、理解し、できることから支援に参加し、伝えていくことができたらなと思いました。親御さんときょうだい児さんとの橋渡しがあること、きょうだいさんにとっても、ご家族にとっても、当事者さんにとっても居心地の良い安心して過ごすことのできる場があることがどれだけ大切なのかということを知る事ができました。ありがとうございました。

◎きょうだいさんの心の声や気持ちに改めて気づくことができた。

◎実は15年くらい？前。まだ独身の時に何年か難病のこども支援全国ネットワークのがんばれ共和個にボランティアで参加していました。キッズ団ありました！！懐かしくお話しを聞かせていただきました。若い時よりも、今の方がキッズ団の存在意義が強く感じられ、現在は購読会員をさせていただいてますが、また、ボラに復帰したくなりました。母をしている今だからこそ、お母さんの気持ちに寄り添いやすい部分もあり、現在の仕事にも、今日のお話しを活かしたいと思います。ありがとうございました。

◎様々な活動を知ることが出来ました。私は、発達障害児の療育に携わり家族支援をする中できょうだいじの支援が足りないと感じていたので非常に参考になりました。

◎心のこもった講演で温かい気持ちになった。橋渡しの役目というお言葉になるほどと思った。

◎子どもの病気がわかったとき、看病している時、親はいっぱいいっぱいになってしまうこと、その中でおいてけぼりになってしまいがちなきょうだい児に目を向け、親子共に安心できる空間を提供していること、またサマーキャンプに参加した方の感想からも、本当にその家族にとって大切で重要な場になっているのだなと感じました。

◎様々な活動できょうだい児たちが輝いている場があり、良かった…とホッとしました。

◎とても丁寧に活動内容を説明していただき、イメージがしやすかった。きょうだい児さんたちの生の声がきけたことも良かった。何年も時間をかけて大切に作り上げた場がたくさんのきょうだい児さんたちの心のよりどころとなっていると伝わってきた。今後も活動を応援していきたいと思った。

◎充実した支援内容に感動いたしました。難病患児、その家族に全力で寄り添うその暖かいお気持ち、素晴らしいです。たくさんのご家族の人生を支えておられるのだなあと実感いたしました。コロナ禍でもweb訪問などで支援を続けておられることにも感銘を受けました。

◎利用される子どもたちや親御さんに寄り添われてる温かいお気持ちが伝わってきました。実際の現場からのお話で、どのような場所で保育されてるのかも見せていただけて、その場を体験できた感じで良かったです。

◎サマーキャンプの機会での「キッズ団」さんのお話しがとても心に残りました。ピアサポートのケアにあるような働きや力をもった存在なのだなと感じました。年齢が上になるほど、特に高校生以上～成人になっていくと、キッズのなかには参加しづらいということも知りました。サマーキャンプの機会にある出会いや再会や、おしゃべりの時間、ひとりの大切な個人でいられること、お互いの共感やほっとする気持ちなど、とても大事だなと感じるものがいっぱいにつまった機会だと思いました。そのためもし叶うなら、10代後半～成人ごろの方にも届けられるような時間や機会ができたなら、もしくはサマーキャンプの場で、今のその方々の年齢や発達に合わせた、参加しやすいようなお願いしたくなるような役割・立場などがあったなら、とてもいいな。あってほしいなと思いました。大切な活動の存在をたくさん教えていただく時間でした。

◎きょうだい児支援に特化していなくても活動の中できょうだいさんが楽しめる居心地の良い場所を提供していること、そして成長したきょうだいさんが今度は年下のきょうだいさんに自然とより添えていることが素敵なことだなと思いながらお話を聞かせていただきました。先日、初めてのイベント開催をして感想をいただいた中で、きょうだいさんが「自分と同じ立場の子なの？仲間なの？」と聞いてきたり、「自分と同じきょうだいさんが沢山いるね」と言ってイベントをたのしんでましたというものがありました。そう感じてもらえたことにうれしさを感じ、きょうだい児が抱える孤独感の解消、仲間がいるよということを伝えるためにもこれからも様々な形での支援をこれからも考えていきたいと強く思いました。

◎本市では支援整備を設置していく途中なので大変に参考になりました。
難病の子供がこんなにたくさんいることを知りませんでした。NICU出身の子供たちや先天性心疾患のお子さんの発達支援については学会でも話題になっていますがこれからはきょうだいのサポートにも目を向けていかないといけないとおもいました。わだいになっているヤングケアラーにもつながる話ですね。たいへん勉強になりました。ありがとうございます。

◎体験として車椅子で気球に乗る、気管切開を塞いで海に浮かぶ、大きなお風呂に父親と入る等、家族一緒での活動をお聴きし、家族きょうだい支援の大切さを更に感じました。

◎本田さんの優しいお人柄が伝わる講演でした。キャンプも楽しそう！

◎大変勉強になるご講演を聞かせていただき、ありがとうございました。訪問看護の現場で病気をお持ちの子供さんとともに兄弟児さんにかかわることが多い状況です。どうしても病気をお持ちの子供さんがメインになるような環境ですが、兄弟児さんも大切にしていきたいと思っています。スタッフ全員、必ず子供さん全員の名前を聞き、名前で呼ぶように心がけています。兄弟児さんはどうしても我慢していることが多く、実際に言葉で表現できている子はまだわかりやすいですが、言葉で発信せずに頑張っている子供さんの気持ちを理解してあげられるような場があることが素晴らしいと感じました。

◎各団体での取り組み内容を具体的に講演頂いたことで、もし自分の子どもが、とイメージしながら聞くことができた。

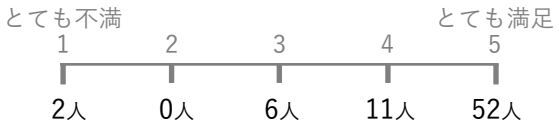
◎ ①初めて参加しました。恥ずかしいのですが、とにかく組織の名前（・・・全国ネットワーク、スマイルオブキッズ、リラのいえ、レモネードの会、オレンジクラブ等）や用語（きょうだい児、キャンパー、ＱＯＬ、トータルペイン、レスパイトケア等）が初耳ですから、分からないことばかりでとても勉強になりました。②オンライン視聴のほか、５人の報告者の講演資料を全部印刷して読みなおしました。③そんななかで、「一人ひとりの子どもたちを思い、何と人間らしい仕事をされているんだろう」「本当に地味な仕事なだけに、子どもが好きでないとできないことなのではないか」と。感銘を受けました。

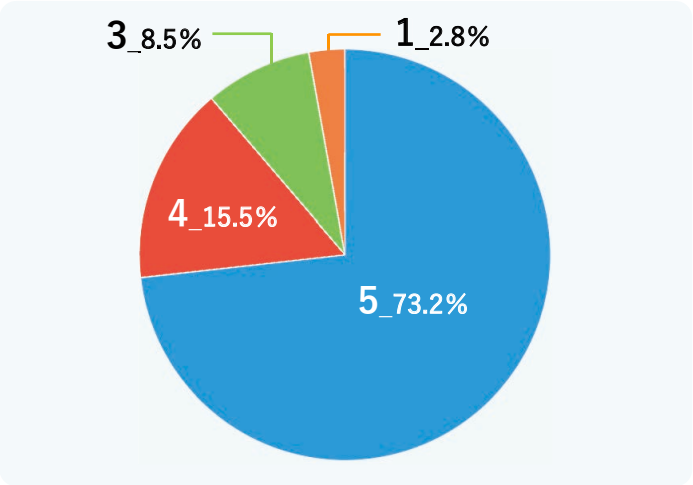
◎活動の様子がよくわかりました。私自身 きょうだい児の親ですが、アンケートからは 今まで知らなかった きょうだい児の想いに触れさせていただきました。キャンプが きょうだいで唯一 遊んだり泊まったりできる場所の回答が印象的でした。

◎難病のこども支援全国ネットワーク様のことや活動概要も存じておりましたが、遊びのプレイリーダーの内容、キャンプの内容詳細を今回伺い、小児がん親の会から病院に積極的にお伝えしたいと思いました。

＜次ページに続く＞

●第二部パネルディスカッションの満足度はいかがですか？





＜第二部の満足度の理由や感想＞

満足度1

◎ ３人の方のそれぞれの活動は有意義で感銘しました。

満足度3

◎メンバー当事者も必要。
◎それぞれ違ったきょうだい児の支援の形があることに驚いた。しかし、それぞれの思いや方向性は一緒で、保護者もとても助かると感じた。
◎それぞれが様々な形でのきょうだい児支援を行っていることを知りました。いつでもきょうだいさんの味方でいれるように声を掛けていきたいと思います。
◎何か問題点の設定が曖昧だと、発信者同士の共感で終わってしまう。本当に対立点や問題点は何もないのか。それを考えてもとにかくやれる事をやって行くしかないよねという結論になるのでしょうが、例えば、国、自治体への理解と予算確保はどうするかなど問題はあるはず。ちゃんと議論をしていく必要もあるのではないでしょうか。

満足度4

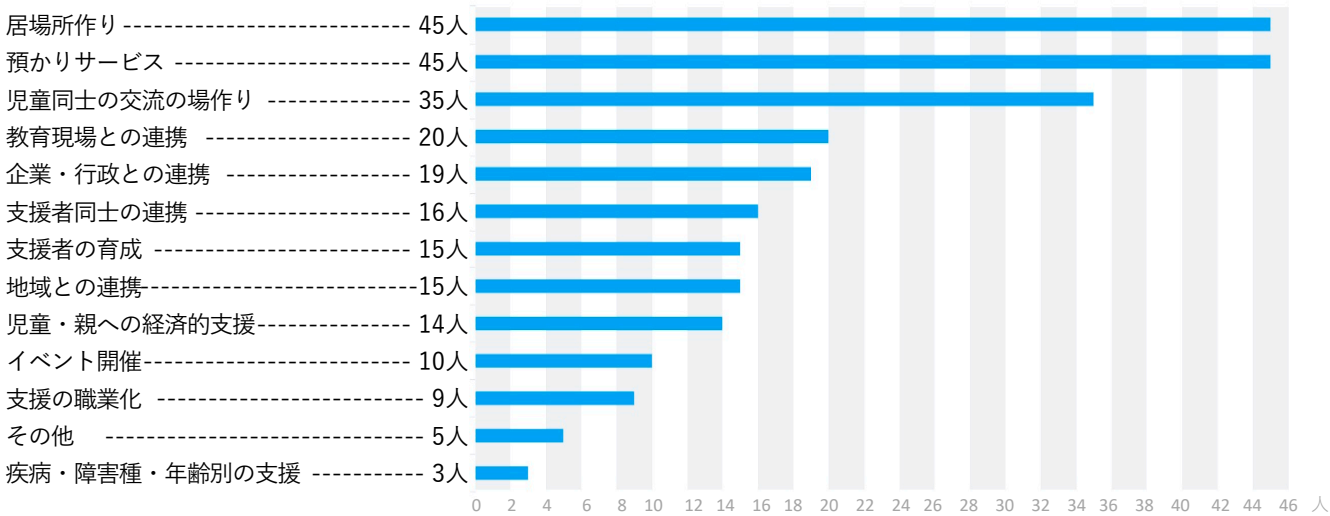
◎小林さんのお話が良かったです。工作キット作成のボランティア 県外でも送ってもらえれば協力したいと思いました。
◎元きょうだいのグリーフケアの必要性や、ボランティアに最も必要な心掛けを知ることができた。
◎きょうだい児への、いろいろな立場からのサポートの必要性や活動の様子をうかがうことができた。古賀さんの『きょうだい児は第２の患者、間接的なかかわりだが、直接的にかかわっているつもり』との優しい配慮ある言葉、小林さんの『きょうだい児の思いに添う、否定しない』というきょうだい児を中心にした自然なかかわりが印象深く残った。レモネードの会では、子ども達がオンラインで遠くの仲間と交流を続ける工夫や力に頼もしさを感じた。
◎こども医療の小林さんのお話に涙が出ました。沢山の人達で患者さんだけでなく、その家族を包む様にあたたかく関わる事の大切さを学びました。

満足度5

◎小林さんのお話の中で患児家族が持っている荷物を支援者が持ってあげる‥というメッセージに入院中だった2年前、まさに預かり保育を利用させていただいた時の事を思い出し涙がでました。そのような実体験があるだけに改めてお世話になった病院関係者の方々に感謝の気持ちを改めて感じました。色々な角度からきょうだい児を支援する方法があること、色々な方々がご尽力されている事がわかりとても勉強になりました。ありがとうございました。
◎パネルが見やすくてとても分かりやすかった。
◎絵本やおもちゃの事が、良くわかり、参考にしたいです。
◎いろんな方面からのフォローがあることを知り、そして皆さんの兄弟児に対する熱い想いが伝わり、ウルっとするところもたくさんありました。これから携わることになると思うので、皆さんの想いを心に持ちながら、寄り添っていきたいと思います。
◎リラのいえの活動以外のきょうだい児支援の方法がたくさんある事を活動紹介から学ぶことができました。きょうだい児とは全然違いますが、私も妹が母のお腹にいる時、そして生まれてからも検診などでさみしい思いをしている時がありました。きっと難病の患児のきょうだいじゃなくても寂しい思いをしている子供がいると思います。そういった意味でもきょうだい児支援はだれでも共感できる事業だと思うのでもっと認知が広まっていけばいいなと感じました。素敵なお話をありがとうございました。
◎登壇者の皆さんそれぞれの経験、活動を通じて、自分の立場で出来ること、気付きを参加者が共有出来て良かった。
◎それぞれの話を詳しく伺い、立場は違えど皆さんの想いが最終的にはこどもの心身の健全な育ち、幸せというところにある気がしました。
◎第二部パネルディスカッションでは、様々なきょうだい児さんの支援が行われているということを知ることができました。複雑な思いを持ち、それを言葉にすることのできないこともあるきょうだい児さんにとって、寄り添うこと、患児さんだけでなくきょうだい児さんもみんな一緒に参加できる支援の場があること、気持ちを共有できる場があることが、きょうだい児さんの背中をそっと押し、支えになっているのだということを感じました。自分自身も、きょうだい児さんを取り巻くななめの関係として、そっと力を添えられるような人になりたいという思いを持つようになりました。貴重なお話をしていただき、本当にありがとうございました。
◎様々な立場からの具体的な案や支援を聞くことができ、親の支援への声かけなど実際に参考にしたいと思いました。また事例をだしていただけたことで、よりリアルにきょうだい児や母親の気持ちにふれられたような気持ちになりました。
◎それぞれの立場でお話しいただきましたが、共通しているのは、患者さん当人だけでなく、きょうだい、お母さん含めて家族の支援の視点が不可欠と思いました。少しでも、きょうだいさんが、自己肯定感を持って、寂しい思いをせずに生活できるように支えていきたいです。
◎様々な角度からきょうだい児への支援が増えているが、制度があっても使われてない、使いにくい現状がもったいない、と思いました。同時に「ニーズが把握できない」ということもとても納得がいくと思い、難しい課題だと感じました。

＜次ページに続く＞

●これからのきょうだい児支援のために特に重要だと思うもの3つを選んでください



＊数値はのべ人数

●きょうだいさんへのメッセージ（🧡あたたかいメッセージをたくさんいただきました🧡）

１人１人が大切な存在です。あなたはあなたらしくで良いと思います。

本当にいつも頑張っているね！

なかなか会えないけど病院からもあなたのこと応援しています。会えたらいいな、話せたらいいな。

私たちの家族でありがとう💛

あなたの応援団は沢山いるよ！

みんなが見守っているから、だいじょうぶ！！

家族は一つのオーケストラ、みんな大事なパートを担っている。毎日豊かな音楽を奏でてください。

ひとりで抱え込まなくて良いよ。自分の人生を考えられる世の中にしていくね。

きょうだい児、患児、保護者全員が笑顔で過ごせる環境が増えていくことを祈ってます。

頑張らなくていい。頑張ってもいい。自分がどうしたいかを大事にしてください。

いつも、ありがとう。あなたの事を皆大事に思っています。

今、なにがしたい？

えらいね。頑張ってるあなたに贈ります。あなたの人生はあなたのもの。自分で選んだ道をしっかり歩んでいってください

共感しあえる仲間を見つけてください！

気持ちに寄り添いたいです。

あなたは1人じゃないよ。両親には言えないことも近くの大人に話してみてごらん。きっと受け止めてくれるよ。

＜全メッセージ掲載＞

◎言葉にもできない悩み・葛藤を抱えておられると思いますが、周りの人は皆、感謝しています。しんどい時は抱え込まずに誰かに話ししてね！ひとりじゃないよ、わたしも他にもたくさん仲間がいるし、助けてくれるい人がいるよ。
◎頑張らないで、我慢しないで、自分の思っていることをお父さん、お母さんに伝えてほしい。お父さん、お母さんもあなたの笑顔が見たいし、ちゃんとあなたのことを見守ってくれてるよ。
◎家族に困難があると、必要以上に大人にならないといけない部分が出てきます。子どものままでいられないというか、、子どものままでもいいんだよと言ってあげたい。
◎きょうだいのみんな、ひとりじゃないよ！
◎みんなあなたの味方だよ
◎きょうだいさんへの支援の一歩が出ずにいましたが、自分一人でもやってみようという気持ちになれました。それは今回話された皆様の熱い思いに触れたからだと思います。ありがとうございました。
◎みんな　一人ではない。声をあげれば、仲間がいる。好きなことやりたいこと自信もっていってみよう。かならず聞いてくれる人がそばにいるよ。
◎皆さんの周りには力になってくれる人がいます！
◎お父さんお母さんはきょうだいさんのことを忘れてはいないです。見ていないように感じる時もあるけれど、ちょっと時間が少ないかもしれないけれど、いつもきょうだいさんのことを考えて感じているからね！ と私も小児がんの治療で娘のことばかり考えていたけれども、当時頑張ってくれた息子（娘の弟）に伝えたいです。

＜次ページに続く＞

＜全メッセージ掲載のつづき＞

◎今はまだ病院に来れないけど、コロナが落ち着いたら、また病院に来てくださいね。一緒に遊びましょう
◎いつでもそばにいます。いつでも見守っています。あなたの事が大好きです。
◎いてくれてありがとう
◎あなたのことを、みんな大好きだよ。
◎いつもみんなきょうだいさんのことを見てくれています。みんなきょうだいさんの仲間です。
◎きょうだいさんのお母さんお父さんの家事とか、何か代わりに出来れば、きょうだいさんがお母さんお父さんとゆっくり過ごせるのかなあ？
◎自分の想いを吐き出せる相手や居場所がきっと近くにあるはず。見守っている大人もたくさんいると思うので、頑張りすぎず、自分の心地よい居場所を見つけて、作っていってほしいです。
◎寂しかったり、甘えたい気持ちを我慢しなくても、受け入れてくれて声をかけてくれる人たちが必ずいます。あなたの声に共感してくれる人が必ずいます。勇気がいる事だけど寂しいという気持ちを我慢せずに伝えることはいけない事なんかじゃありません。いつでもあなたを気にしてくれる人がいますからね。
◎みんな頑張ってるよ！偉いね！お父さんもお母さんもそれをちゃーんと知ってるよ！
◎みんなあなたがだいすきだよ。
◎いつも頑張ってる皆さんを応援してるよ！
◎今回のシンポジウムを通してきょうだいさんが置かれている状況と、複雑な思いを持たれていることを知りました。無理をしないで、自分を大切にしてあげてください。
◎自分の人生を生きていいよ。一人じゃないよ。
◎大丈夫。いろいろ思っていることをお話ししても大丈夫。お父さんお母さんに言えなかったらお話しできる大人に話して大丈夫。頑張らなくても大丈夫。あなたを見守ってくれる大人がいれば大丈夫。そんな大人でいたいです。
◎今日は途中まででしたが参加させていただきました。障害児、きょうだい児の母、福祉系のNPO法人のサポート職員、昨年度よりオンラインでのきょうだい児支援を行っています。今日改めて、きょうだい児という言葉は障害児があってこその言葉ですが、きょうだい児が本人らしく、肯定感を高めていける環境とわかり合える仲間が大切だと感じました。きょうだいさんには自分らしさを大切にやりたいことを声に出していくことを大切にしてほしいと思っています。
◎きっと今の生活が当たり前、がんばるのが当たり前、自分が迷惑をかけちゃいけないって思って、周りに愚痴だったり困りごとを言えない子が多いと思います。学校現場などでもそんな声にならない声をひろっていけるような支援をしていきたいです。
◎あなたを大事に思って、心に寄り添おうとしてくれる大人は、こんなにたくさんいます。ひとりぼっちじゃないよ！
◎今日のお話しにあったように、きょうだいさんのもつ「明るい未来」が、ちゃんと大切に 明るい未来へつながっていきますように。“いっぱい思いっきり大切にしていいんだよ”ということが、きょうだいさんへ、ご家族の方へ、周りで支える方々や、今やこれからに関わる社会のいろんな方のもとへ伝わっていったらいいなと思いました。
◎一人じゃないよ、仲間はいるよ！いろいろな気持ちきかせてね！
◎コロナ禍において、更に制限がある環境の中、大変な日々だと思います。支援事業の場など、色々な人との繋がりを持ち楽しく過ごしてくださいね！
◎ひとりじゃないからね。我慢しなくていいんだよ。
◎きょうだいさんに目を向けてくれている大人がたくさんいます。しんどいこと等、自分の気持ちをはきだせる大人をみつけてください。
◎いつも頑張っているね！ 甘えたい時は甘えていいんだよ！
◎あなたはひとりじゃないよ。大丈夫だから、ひとりで抱え込まないでね。そのまんまのあなたで良いんだよ。
◎いつも頑張っているあなたへ。あなたの頑張りや辛さを全部分かってあげるのは難しいけれど、あなたを大切に思って寄り添いたいと思っています。頑張りすぎず、自分の大好きな事も大切にしてくださいね。
◎今はまだ学校や地域からの理解は充分じゃないかもしれないけど、1人じゃないよ！
◎精神的にも肉体的にも大変なお仕事のように思います。関係者の皆さま、健康にはくれぐれもお気を付けください。沢山精神的にも肉体的にも大変な犠牲を払いつつのお仕事かと思います。健康に気をつけて頑張ってください。沢山励まされ、勇気を頂戴しました。ありがとうございました。
◎1人じゃないよ。何でも話して良いんだよ。

●運営へのご意見

＜温かなご意見ありがとうございました＞

◎電波の問題もあるが、それもオンラインならではのことなので、あまり気にならなかった。
◎オンライン特有のハプニング。どこでもあることなので、なごみました。
◎オンラインは本当にありがたいです。居住地に関わらず貴重なお話が聞けるのは素晴らしい事です。音声の面での中断等アクシンデントもありましたが、気にしないで続けて欲しいです。
◎オンライン特有のハプニング。どこでもあることなので、なごみました。
◎オンラインは本当にありがたいです。居住地に関わらず貴重なお話が聞けるのは素晴らしい事です。音声の面での中断等アクシンデントもありましたが、気にしないで続けて欲しいです。
◎冒頭で、音声が入らない状態がありましたが、そのことが反って親近感がわき、より参加者・主催者の壁を越えて、親しみやすくやりました。
◎ zoomが慣れていないため名前の変更出来なかったです。
◎オンライン配信での不具合はどんなに準備しても起こりうることなので、本当に大変だと思います。毎回どきどきですよね。講演会に支障なく終えられて良かったです。
◎居ながらにして、参加できることは便利だと思った。資料も見やすかった。
◎司会、進行もとても落ち着いていて素晴らしかったです。
◎途中から入ろうとしましたが入れず、他の方のを見せていただきました。事前テストをしておくことが大事だと思いました。沢山の方がサポートしてくれているのが分かり、皆さんの底力を感じました。素晴らしいです。
◎リラのいえの生中継、大変良かったです。ありがとうございます。
◎全国から多くの方が参加できて良いと思います。
◎中継はなかなか電波が安定しませんでしたが、伝えようとしてくださるお気持ちが受け取れました。😊
◎スピーカービュー、ギャラリービューをうまく活用していたと思う。

＜次ページに続く＞

＜運営へのご意見のつづき＞

◎今回オンラインでの開催だったため、いい意味でシンポジウムという入り口の狭さを感じずに、気軽に参加し学ぶことができてよかったです。また司会の方の進行がとてもスムーズで、音声が入らなかったときの実況など素敵だなと感じました。
◎問題なく参加できました。ありがとうございます。
◎オンラインだと気軽に参加しやすくて良かったです。これからも続けていただきたいです。
◎きょうだい児さんの保育をされている「リラのいえ」さんからの中継のお時間があり、実際にその場所を訪れて見学をしているようでとてもいいなと思いました。音声の途切れなどトラブルもありとても大変だったのだなと思います。一参加として見ているこちら側は、施設内の様子や、普段遊ばれているおもちゃやいろんなことが新鮮なので、音声でのご案内がその場できくことができなくても、皆さんと一緒に映像を通して見学させていただくことができたなら、とても十分にいい時間だなと思いました。第一部の講演後の長めの休憩のとき、少し離れていた時間があったのですが、次の会の始まりの時に、休憩中にあったお話しや映像のご様子を、女性の方がお伝えしてくださっていて、とても風景が浮かんでそうだったんだとわかって嬉しくなりました。有り難うございます。
◎少し音声トラブルもありましたが、講演は問題なく聞くことができました。引き続きオンラインで配信していただけると嬉しいです。
◎配信の運営も概ねスムーズで、準備に時間をかけて丁寧に取り組まれたのだと思います。ありがとうございました。
◎今回アクシデント時の繋ぎがスムーズだった事を体験し進行役の役割の大きさを感じました。

＜次回に向けて、運営の参考にさせていただきます＞

◎少し時間が長かったですが、多くの人が参加できる場の設営でした。
◎今回は本名で参加したが、次回以降は支援活動で使用しているペンネームやハンドルネームで参加したい。
◎休憩と言われた時間中もホスト側がしゃべられていて、休憩時間が不明瞭だったこともあり、章ごとの区切り目が曖昧に感じた。
◎ブレイクアウトルームなどを利用して参加している方々とお話が出来たり、つながりの場を作っていただける機会があるとよいなと思いました。
◎資料を事前にデータでいただけると、読んでから参加できるので深い学びになると思いました。お忙しい中とは思いますが、次回ご検討いただけると嬉しいです。
◎全ての方のマイクをオフにするという機能がZOOMにあるはずなのでその機能を使えば、マイクオフのやり方が理解できなかった人にも対応できるかなと感じました。
◎適時、休憩
◎終盤が長く、パネラーの講師の方も同じようなことをお話しするような形になっており、３時間半近くは長い印象を受けました。３時間以内でほんの少し短かったかもと感じるくらいの時間構成で運営した方が次回も参加してみたい、またお話を聞いてみたいと思うかなと私は思いました。
◎自宅で視聴していると、関心はあっても時間が長いと感じてしまった。出向いての参加より、集中に欠けるのかもしれない。

＊全体総括：次回に向けて＊

今回もたくさんのご参加があり、きょうだい児支援への関心の高まりを感じました。
これから支援を始められる方や、お仕事できょうだい児に関わる方々のご参加も多数ありました。登壇者それぞれの立場から、具体的なお話を聞くことができて良かったというご意見も多くみられ、シンポジウムで得られたことがきょうだいさんが安心できる瞬間に繋がることを願っています。

そして、支援に携わっている方の継続参加や、以前ご登壇いただいた先生方のご参加も。質疑応答でギャラリービューに切り替えお顔合わせした時に、皆様の繋がりを感じられるあったかい空気が、電波を超えて流れるのを感じました。これからも、当事者ご家族、支援者だけでなく、様々に手を伸ばすことのできる第三の大人達がたてよこななめに繋がって、きょうだい児支援を広めていけることを願っています。

前回は会場とオンラインのハイブリッド開催で、音声が途切れてしまうことがありました。その反省を活かして、今回はご登壇の皆様の温かいご講演をしっかりとお届けすることができました。細かな不具合には申し訳ない気持ちでいっぱいですが、アンケートでいただいたご意見とともに次回への課題とさせていただきます。

アクシデントにも柔軟にご対応いただいた司会の相浦様をはじめ、ご登壇の皆様、ご参加の皆様、本当にありがとうございました。